

# 令和元年度（第2回）京都府国民健康保険運営協議会の議事概要

令和2年2月7日（金）  
午後1時30分～2時30分  
ホテルルビノ京都堀川「金閣の間」

出席委員（被保険者代表）  
宇野委員、中村委員、鎌田委員  
（保険医・保険薬剤師代表）  
内田委員、清水委員、野木委員、近田委員  
（公益代表）  
井上委員（会長）、武田委員  
（被用者保険等保険者代表）  
中島委員、守殿委員

## 1 開会

## 2 あいさつ

松村健康福祉部長から開会のあいさつ

- 配付資料の確認
- 定足数の確認
- 会議録署名委員の指名  
会長が会議録署名委員2名に被保険者代表の鎌田委員及び保険医・保険薬剤師代表の野木委員を指名

## 3 令和2年度国民健康保険事業納付金の算定結果

事務局から資料1により説明

## 4 令和2年度国民健康保険事業の取組

事務局から資料2により説明

### <質疑応答>

委員 資料2の2ページ「理美容室と連携したオーラルケア対策事業」について、歯科医師会としては効果を疑問視している。予算規模や事業内容は、令和元年度と同じか。

事務局 予算は同じ規模であるが、実施方法については、工夫や改善が必要と考えている。本年度は、理美容室向けの研修や説明会を、歯科医師会と一緒に

行いたかったが、日程が合わなかったこともあり、府が中心となり進めた。次年度については、歯科医師会の御支援を受けながら事業を進めさせていただきたい。

委員 その場合は、早めに歯科医師会に相談いただきたい。

委員 資料2の3ページ「がん対策総合推進事業費」の「100万人がん検診啓発の推進」について、現状ではがん検診の申込手続きは煩雑になっているところ。府によるWEB申込の環境整備について、内容をもう少し具体的に説明してほしい。

京都市と舞鶴市において、国保のがん検診と協会けんぽの特定健診の同時申込み、つまり申込みの一本化を実施した。これにより、舞鶴市においては、がん検診と協会けんぽの特定健診の受診率が大幅に伸びた。特に初回受診や年齢層の若い方の受診が増えた。是非、地域において、市町村のがん検診と被用者保険の特定健診の申込手続きを連動させる取組を進めていただきたい。

事務局 もともと市町村によって、がん検診の申込受付方法はさまざまである。

本年度、WEB申込の環境整備についてモデル事業を実施した。具体的にはインターネットによる申込みを勧めている宇治市や福知山市において、対象者が、市のホームページ上の広告の画面をクリックすると、がん検診の申込手続きに進んでいけるような環境整備を行った。

モデル事業の実施後、市町村担当者会議を開催したところ、府内のどの市町村も検診率を上げていきたいと考えており、京都府もそれを支援していきたい。

御意見いただいた双方の申込手続きを連動させる取組については、市町村と情報を共有していきたい。

委員 国保の保険者努力支援制度について、国の資料では、令和2年度は500億円拡充されると記載されている。府の保健事業の取組とこの保険者努力支援制度の関係が分かりにくいので、見える形にしていきたい。

事務局 令和2年度の500億円拡充については、国において大枠が決まったところである。交付基準等の具体的な内容はこれから決まるので、今後、情報を入手してしっかり取り組んでいけるようにしていきたい。

事務局 保険者努力支援制度交付金は、府分と市町村分がある。この交付金を活用して府と市町村が全体としてどのように取り組み、公費の負担軽減につながっているのかを、経年的にも見える形にしていく必要があると考えている。御意見を踏まえて、今後、市町村の保健事業も含めて、京都府全体での事業の効果が見える形にしてお示ししていきたい。

5 その他

事務局から資料 3 により京都府国民健康保険運営方針の改定に向けて説明

6 閉会

片岡健康福祉部副部長から閉会のあいさつ

(以上)